

第141回運営委員会概要 7月16日(水) 18:30~21:00

- ◆会場：柏崎原子力広報センター 2F研修室
- ◆出席委員：新野会長・佐藤副会長・高橋副会長
石坂・三宮・竹内・武本(和)・徳永委員(運営委員)
川口・高桑・中原・前田委員(検討会委員)・・・12名(敬称略、五十音順)
- ◆オブザーバー：規制庁/内藤所長、山崎原子力防災専門官、平田原子力保安検査官
エネ庁/橋場所長
柏崎市/村山主任
刈羽村/山崎主任
東京電力/長野副所長、杉山課長、中林副長、徳増主任
- ◆事務局：広報センター/須田業務執行理事、石黒主事

7/9 長岡技術科学大学への授業協力について報告

〈議長〉7月9日、長岡技術科学大学の「技術・リスクに関するコミュニケーション論の対話集会」に参加した。
こちらは6名の運営委員と3名の委員の計10名、技科大の学生、院生は50数名。今年は防災がテーマだったが、原子力専攻の学生は10名ほどで残りは建設専攻の学生だった。
学生たちは、非常に積極的で私たち住民が日常で防災を考えているのと同じく、若い方たちが一人の国民としても仕事としても防災のことをしっかりと考えているということが感じられ、とても良い会話をすることができた。
「防災」は身近で議論しやすい切り口。議論しやすい切り口ゆえに、相手の考え方も透けて見えてくるので、きちんとした切り口を整理して使っていくというのは会話の有効なテーマだとあらためて感じている。

地域の会のあり方及び次期改選に向けた検討会及び年次計画(勉強会、出張定例会等)について

〈議長〉6月21日の発電所視察の前に、第1回の検討会を行い、テーマのない議論をさせていただいた。
皆さんからの推薦により、川口委員が座長ということで進行役を快く引き受けていただいた。その内容を少し報告いただきたい。

〈川口委員〉6月21日に第1回の会合を開催した。
改選に向けた検討会ということで、現役員よりも他の人が司会進行をしたほうが良いということで司会進行をさせていただいた。
テーマのない議論の中で、概ね皆さんの意見としては、
・役員は、ある程度の任期制で交代でやってもいいのではないかな。
・委員の任期はある程度決めておいた方がいいのではないかな。

・今やっていることをずっと継続していくことが望ましいのではないか。

ということで意見がまとまっている。

8月の定例会の前に、県、市、村の方々と協議をする時間を設けて意思確認を図っていく予定である。

〈議長〉今、報告があったように何を決定したということではなく、緩やかに意思の確認と意見交換を行った。

8月の定例会の前に自治体の方たちと協議をするというのは、まだ第一段階で、何かを進めるというよりは、認識はどうあるのか、足並みを揃えるために行うテーマのない会、ということで第1回目を行う予定。そこで課題が出てくればそれに対して今後は課題をシェアしていくことになる。

8月には、6月21日に私たちが行ったテーマのない検討会と同じようなことを自治体の方たちと行うということ。

それは地域の会というものは、委員だけの会ではないということで、オブザーバーの方たちが居てこそ、大きなくくりの中で地域の会というかたちが保たれているということ。私たちの思いだけで前に進むというのは違うのではないかとということで、意思確認をきちんとしようということが語られたために行うものである。

(委員了解)

出張定例会について

〈事務局〉前回運営委員会の協議事項で、出張定例会を第1水曜日にできる月、施設で開催を検討することになったので、各施設に問い合わせを行った。

10月1日、11月5日はアルフォーレのマルチホール、12月3日は市民プラザに現状、空きがある。日程だけでも早急に決定していただきたい。

〈委員〉10月は県外視察もあるので11月がいいのではないか。アルフォーレならば駐車場も無料で台数にも余裕がある。

〈議長〉では、11月にアルフォーレで出張定例会を行うことでよいか。

(委員賛成)

〈委員〉内容について、今までのように拡大勉強会のようなものを考えるか。

〈議長〉わざわざ場所を変え、事務局や市の方たちに移動でご苦勞をおかけして、市民の皆さんから定例会を見にきていただくためには、通常の定例会もいいが、皆さんのアイディアで内

容を考えていくほうが良いと思うがどうか。

(委員賛成)

〈委員〉オブザーバーとのディスカッションも良いと思う。

〈委員〉講師を依頼するとどうしてもそちらが中心になって定例会がそっちのけになったりする。

〈委員〉定例会を拡大してピンポイントの議論ではなく大枠の建設的な議論ができるような内容にするとか。

〈委員〉ふだんの定例会の議論だけでなく、市民の方にもわかるような内容になると良い。

〈委員〉10月の視察のあとだから結果を市民の方に知ってもらうのも良い。

〈委員〉エネルギー需給というのはどうか。

〈委員〉せっかく視察に行くのだからその内容も入れたい。

〈委員〉去年の福島視察のことも加えてもいいと思う。私たちが県外で勉強させてもらったことも踏まえ、さらに今年のことも加えて、市民の方たちに報告する、報告会というかたちでもよい。

〈委員〉皆で勉強してきたことを報告して、はたして問題提起ができるのか。

〈委員〉11月ということは、もしかしたら再稼働が進んでいるかも知れない。

〈委員〉再稼働を含めての委員所感表明と視察報告みたいなかたちで考えてもいいと思う。

〈議長〉日時は11月5日として、講師は呼ばない会議ということ。市民への周知、広報もあることから9月初旬までに内容を詰めていきたい。

(委員了解・賛成)

次回以降定例会内容について(8月、9月、10月)

◆8月定例会(8月6日)について

〈議長〉今後の日程確認。9月定例会は3日、10月定例会は1日、県外視察が10月5日、6日という日程となる。
8月の内容はどのようにしたらよいか。

〈委員〉8月、9月の定例会は、先日視察させてもらった感想もあるし、防災のことも含めていくということがひとつ。川内原

発の審査が進んできたこともあって、疑問を持っている方たちもあると思う。

〈議長〉 前回は情報伝達をテーマとした。市から概要を聞いて、全体的話を聞いたために意見交換では全体に対しての発言やふだんの関心事が委員から出された。

情報伝達に対しての意見交換が前回のかたちでよければ一度締めて、次の、過酷事故のところ、避難のことに移っていかどうか。

説明を受けたのがずいぶん前で、おそらく1回では終わらないと思う。そうすると8、9月を使うことになるし、報告事項もたくさんあると思う。

〈委員〉 情報伝達について委員の皆さんの意見は全て出されてもうないのだろうか。

〈議長〉 まだあるならまた8月に意見を出してもらって構わないと思う。

8月は、防災の内容をひとつ進めたほうがよいか。

(委員賛成)

〈議長〉 意見が言い足りなかったとか、これを言いたいというのは補足していただき、最終的に、委員皆さんの共通項として、どうありたいのかということのを羅列して記録に留め、4つの項目が終わったときに整理をして、総論的に今の私たちは何を願うのか、何を評価するのかということのを皆さんに伝えられたらいいのではないか。

また、9月の内容については、8月の続きになると思うがどうか。

(委員賛成)

〈議長〉 10月の定例会で勉強会の内容について先に質問事項を出しておかねばならない。

〈委員〉 8月の定例会で会長から、質問事項を運営委員会までに出してもらいたいと話しをしてもらえばいいのではないか。

(委員賛成)

〈委員〉 昨年収穫された南相馬の米が汚染されているという件について。

それが表に出てきたのはつい最近。東京電力は3月の段階で照会がいった。その事実に対して南相馬は怒っている。

規制委員会がどこに関わっているのかわからないが、国には窓口がいろいろあって、本当のことをきちんとタイムリーに連絡してくれるのか。なぜ今頃になってそんなことが出てくるのか。事実関係はどうなのか。

担当省庁が違うから答えられないとよく言われるが、少なくとも当事者の東京電力は知っているはずではないか。

〈委員〉それは情報伝達の根本的な問題。

〈委員〉それは、やはり会議の中で質問でも意見としてでも発言することしかないと思う。

〈議長〉会議に参加してもらっているオブザーバーの中で担当がない場合もあって、答えがもらえない場合もある。発言していくことが大切ではないか。住民として事実を確認していくしかないのではないかと思う。

次回定例会で意見としてぜひそのことを発信していただきたい。

(委員賛成)

県外視察について

・東北電力(株) 柏崎営業所の五十嵐副所長より女川原子力発電所の視察内容や行程について説明をいただいた。

〈議長〉東北電力さんから視察予定先の内容について説明をいただいた。

当初は火力発電所や地熱発電所なども見たいという意見もあったが、移動の時間的なことも考えて、基本方針としては、朝、広報センターを出発して女川方面へ行き、津波の影響が残ったままの街の様子を見て、石巻に宿泊。翌日午前中に発電所を見学して質疑をさせていただき、帰ってくるというかたちにしたいと思うがどうか。

(委員了解・賛成)

〈議長〉では、そのような内容でプランを組み、8月定例会で委員の皆さんにお知らせしたい。また、事前に聞いてみたいことを質問として出していただくようにお話しして、運営委員会でまとめて東北電力さんにお知らせしたい。

(委員賛成・了解)

〈議長〉視察に関しての資料について。もし、先にいただけるのであれば、委員が事前に目を通して視察当日に質問できると思うのでお願いしたいと思う。

〈東北電力〉視察前までに用意したい。

〈議長〉よろしく申し上げます。

その他

◆新潟日報の新聞取材記事について

〈議長〉 2日前の新潟日報の記事に、先回の定例会後に（新野議長が）取材を受けた内容が掲載されている。

記者に「防災の情報伝達がメインテーマだったが、様々な意見が出ましたね」と尋ねられ「防災は非常に関心が高く、切り口は情報伝達にしているが、その時に言いたいことを拒むものではないので様々な意見が出たし、それが熱意の表れと思う」という話しをした。

取材の中で、「私たちは大それたことではなく、こういうものをきちんと切り分けて住民側の思いとしてまとめられて、どこかに発信できるといいと思う」という趣旨の発言をした。その発言が記事に掲載されており、発言は個人的な発言だったが、今もその思いは変わらない。

そこで、皆さんに提案だが、防災について4つに切り分けて議論を進めているが、最終章は何なのか。議論を言いつばなしにしたままよりは、私たちの思いを「かたち」にできればと思う。総意の言葉として羅列してご提案できるかなという意味を込めての発言だったが、おそらく皆さんも同じ思いなのではないかと思っている。

防災の避難計画などは、課題と条件がなかなか整わないために、決め切れていないところがあると思っている。そういうところへ私たちの強い思いを届けるということ。提言だとか、カッコイイものでなくても、せつかく議論したなら防災の締めとして、中間まとめみたいなことで、そういうことができるといいのではないかと思い、発言している。

皆さんの思いが同じであれば、そういう方向も踏まえて今後考えていただけたらいいなと思っている。

一個人として取材を受けても記事になっているので、皆さんへ内容についてのお断りと説明、そして再提案ということでお話しさせていただいた。

◆広報センター閉館時間について

〈事務局〉 定例会のあとで、マスコミの取材が入るとセンターを閉館する時間がさらに遅くなり、できれば21時に完全閉館したいと考えている。

〈委員〉 そうしたら、会議も20:45には終了として、21時閉館にしたほうがいいのではないか。

〈委員〉 21時に完全閉館にしたい旨、会議始めの挨拶や資料などに、ご協力をお願いする文言を入れてはどうか。

（委員賛成）

〈事務局〉 文言の内容を検討して、次回定例会時からお願いしてい

きたい。

視点第67号内容について（第132回定例会分）

- ・視点第67号、第132回定例会分の校正を委員で確認。
- ・質疑の内容など細かな改善を行い校了。
- ・第131回定例会分は、武本委員が再校正し、本日、運営委員が確認した。

【決定事項】

〈地域の会のあり方及び次期改選に向けた検討会（8/6自治体との検討会）〉

16：30～18：00

〈8月定例会タイムスケジュール〉（案）

18：30～19：30 前回定例会以降の動き

（東京電力・規制庁・エネ庁・行政）

19：30～21：00 防災計画（緊急時の避難について）、その他

次回以降日程について

第134回定例会	8月	6日（水）	18：30～21：00
第142回運営委員会	8月	20日（水）	18：30～21：00
第135回定例会	9月	3日（水）	18：30～21：00